

2026年度 大垣女子短期大学 出前講座

分野 : 子ども

テーマ : 保育教材 ミニシアターを作ろう

講師 : 幼児教育学科 講師 名和 孝浩

◆概要

小中高校生を対象に、子どもが喜ぶミニシアターを作り、実際に演じてみる講座です。紙皿や画用紙など身近な材料で簡単に作れるため、中高生の保育実習でも活用できます。子どもを引きつける演じ方の工夫や、実践のコツも学びます。

◆内容

元男性保育士の教員がミニシアターを実践し、演じ方を学びながら、参加者も実際にシアターを作って演じる講座になります。ミニシアターは、子どもの興味を引きつけやすく、短時間で準備できるため、保育実習でも活用しやすい教材です。この講座では、紙皿、画用紙などを使って簡単に作れる「紙皿シアター」などを制作し、実際に演じる体験をします。講座では「制作」と「実践」のパートに分かれており、作るだけでなく、シアターの効果的な演じ方や具体的な実践方法や応用も学び、保育実践経験に基づいたアドバイスをを行います。ミニシアターを通じて、子どもとかかわる楽しさを実感し、保育の実践力を高めましょう！

※紙皿シアター以外にも、「マジックシアター」「紙コップシアター」「ペープサート」などの保育教材に変更することができます。

【準備物】

画用紙、折り紙、紙皿、のり、はさみ、カラーペンなど。

※ミニシアターの内容に応じて、準備物は変更します。

◆出講可能な時間帯

- ・前期（4月～7月） : 月曜日（午前）
- ・後期（10月～1月） : 月曜日（午前）

◆講師情報

- (1) 専門分野 : 保育内容、乳児保育
- (2) 主な担当科目 : 実習指導、保育原理、保育内容「人間関係」の指導法
- (3) 一言メッセージ : 保育のことを楽しく学んだけただけたらと思います。ミニシアターを通じて、子どもとかかわる楽しさを実感し、保育の実践力を高めましょう！

2026年度 大垣女子短期大学 出前講座

分野 : 子ども

テーマ : 子どもの目で世界を見ると、何が変わる？—チャイルドビジョン体験から考える—

講師 : 幼児教育学科 講師 名和 孝浩

◆概要

幼児の視野を疑似体験し、大人と子どもの見え方の違いを体感することで、保育者が「しゃがんで話す」理由とかかわり方の工夫を学ぶ体験型講座です。

◆内容

チャイルドビジョン（幼児視界体験メガネ）を用いて、参加者が子どもの視野の狭さを疑似体験します。大人には見えている相手の表情や周囲の状況が、子どもには十分に見えていないことを実感することで、子どもと大人では「見えている世界」が大きく異なることに気づきます。

体験後には、「なぜ保育者はしゃがんで話すのか」「目線を合わせると何が変わるのか」について考え、保育者の姿勢や距離の取り方が、子どもの安心感や理解のしやすさにつながっていることを学びます。

保育を志望する生徒は、実習先で目にする保育者の行動に理由があることを理解でき、保育以外の進路を考える生徒にとっても、相手の立場に立つことの大切さに気づく機会となります。

【準備物】

- ・はさみ、のり（型紙切り抜き用）
- ・プロジェクター、スクリーン

◆出講可能な時間帯

- ・前期（4月～7月） : 月曜日（午前）
- ・後期（10月～1月） : 月曜日（午前）

◆講師情報

- （1）専門分野 : 保育内容、乳児保育
- （2）主な担当科目 : 実習指導、保育原理、保育内容「人間関係」の指導法
- （3）一言メッセージ : 保育のことを楽しく学んでいただけたらと思います。ミニシアターを通じて、子どもとかかわる楽しさを実感し、保育の実践力を高めましょう！